

豊後高田観光盆踊り大会

地元の人には「高田観光盆踊り大会」として知られる高田観光盆踊り祭りは、毎年 8 月 18 日に開催されます。この祭りの中心は、江戸時代（1603 年～1868 年）に徳川第八代将軍吉宗の治世下に生きる農民の娯楽として始まった地元の踊りである、草地おどりです。吉宗は享保の改革のなかで、つましい簡素な生活様式を奨励しました。草地おどりは、スタイルや音楽のテンポが異なる 4 種類の踊りで構成されます。前半の踊りはより女性的で、踊り手は浴衣（カジュアルな夏着物）を着て、うちわを手に、優雅に踊ります。男性的になる後半では、踊り手はショートパンツと法被（袖がまっすぐな上着）を着て、生きのいい踊りを披露します。

草地おどりは 8/18 の夜行われ、30 以上のグループが賞を競います。祭りの締めくくりとして、草地踊り保存会のメンバーが踊りを披露します。この賑やかな野外の祭りでは、あらゆる年齢の住民が浴衣や法被を着ます。エネルギッシュな雰囲気は観客にも移り、なかには飛び込みで参加する人もいます。